

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 28日 (14:00~14:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	10人	1人		14人

前回の改善計画
一定期間 (利用開始一ヶ月程度) は特に受け持ち担当を中心に今までの生活状況等の情報収集に努め、合わせて継続的に本人 (家族) の思いについて把握していく。方法として、記録の残し方の工夫によりタブレットと暮らしの情報シートを連携付けたり、ミーティングの場において議題として取り上げたりし、スタッフ間で周知できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用開始前に集めた情報に関しては十分に周知できていた。一定期間 (利用開始一ヶ月程度) から情報を集めることを意識的に行えていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5人	7人	2人		14人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	6人	7人	1人		14人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6人	6人	2人		14人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5人	7人	2人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 家族にセンターでの様子について、ファイルを通して分かりやすくお伝えしている。</li><li>・ ご利用者とのコミュニケーションを意識し、声掛けや誠意をもって接することで、信頼関係を築けるように努めた。「また来たい」につながる支援ができた。</li><li>・ ミーティングでの共有や、タブレットへの経過記録を詳しく残すようにし、再確認できるようにした。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事前情報が少ないことや個別担当としても生活状況の情報収集が十分に出来ていなかった。</li><li>・ タブレット内の記録 (申し送り) 等、時間が経過するとともに忘れてしまうこともあった。繰り返し情報を共有 (確認) することが必要。</li><li>・ ご家族と話を CM に任せきりになってしまい、話をする機会があまりなく、どの様に考えているのか理解が不十分であった。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	担当者を中心に、利用開始後の最初のミーティングの場において議題として取り上げたりし、スタッフ間で周知できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 28日 (14:00~14:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	8人	4人		14人

前回の改善計画	・「～したい」という思いやその先の目標につながる事を引き出す事を日々のケアの中で意識する。その際にどの様にアプローチしたら思いを引き出せたかという事を記録に残し、職員間で共有する。聞き取れた思いはミーティングで取り上げ、現実に向け具体的に話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	「～したい」という思いを利用者から引き出しきれなかった。本人との会話は多くできていたが、「意向」とく汲み取る意識が少なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2人	3人	9人		14人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2人	5人	7人		14人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3人	5人	6人		14人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3人	4人	7人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・その場で聞き、可能なものは直ちに実施できている。判断できない事項は相談や報告にて対応できている。</li> <li>・ご本人の自己実現や自立支援について、考えたケアを行うように心掛けている。</li> <li>・近々の目標については概ね理解し、職員間で話し合いが行われている。</li> <li>・コミュニケーションを通し情報を収集、スタッフ間で共有してケアにつなげることができた。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全て利用者様の目標を把握できていたわけではなく、情報収集が不足していた。</li> <li>・個別担当の交代の際に、十分な引継ぎができず、ケアが注地半端になってしまった。</li> <li>・実践したことをミーティングなどで発言することが積極的にできず共有不足な部分があった。</li> <li>・ご本人の「～したい」の具体的なところを理解できていない。</li> <li>・意思の表出が少ない利用者へのケアが不足してい</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>会話を通じ、「思い」「意向」などに意識を持ち、タブレットの記録【青●】を活用することで、スタッフ間での共有を図るようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 10月 28日 (14:00~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	4人		14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な介護や変化に対する時など、スタッフ間で支援の方法が異ならないよう、受け持ち担当を中心に定期的に話し合い確認を行う。(およそ三ヶ月毎)</li> <li>以前の暮らし方に着目した上で、現在の日常生活の支援を行う事の意識を持つようにする。(ミーティングやタブレットの記録、暮らしの情報シートの活用)</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	暮らし方についてのケア方法については、手順書をもとにスタッフでの差が出ないようにできた。暮らしの情報シートの理解や活用がスタッフ間でバラバラであり、十分な活用に至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4人	7人	3人	14人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4人	8人	2人		14人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2人	6人	4人	2人	14人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3人	8人	2人	1人	14人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5人	7人	1人	1人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>体調の変化や状態変化、言動など詳しく記録に残し、職員で共有するよう努めた。</li> <li>利用者様に合わせた食事介助や排泄支援など行う事ができている。</li> <li>日々の体調や表情、行動の変化等の細かい部分を記録にて把握(タブレットにて職員間共有)できている。業務や関りでの活用に繋がっている。</li> <li>会話や様子の中から変化があれば職員間での会話時タブレットでの記録を行っている。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の情報収集が出来ておらず、生活習慣や特性が把握できていない。</li> <li>現状は理解できているが、過去のことは多くを把握できていない。</li> <li>生活環境の把握を十分に行う事ができていなかった。</li> <li>「以前の暮らし方」や本人の「声にならない声」が把握できていない。</li> <li>暮らしの情報シートへの活用ができていなかった。見る機会を自分で作ることをしなかった。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
サービス評価係を中心に、暮らしの情報シートやエコマップの使い方の学びの場を設け、以前の暮らし方を共有し、日常生活の支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 2日 (14:00~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		6人	8人		14人

前回の改善計画	・エコマップの活用を充実させ、ご利用者を支える方の関係や地域との関りを理解し、ご本人が地域の一員であることの意識を持ってケアを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	エコマップは利用開始時に作成しただけとなり、その後の更新や、活用は十分できなかつた。送迎や訪問時は、ご近所とのあいさつなど、本人と一緒に行動などはできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5人	9人		14人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		8人	6人		14人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5人	9人		14人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4人	10人		14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人と家族の関係が切れないよう送迎時に家族に会う事があれば様子を伝えたり、プラスになる言葉かけを意識するようにした。 ・ケアマネ中心となり、情報の共有ができ、それを活用。それに基づいた支援ができています。 ・ご近所の情報を得ることができた。地域サポートを理解できるようになった。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・その方に関わっている人を知ることはできたが、エコマップの活用の仕方がわからず、を十分に活用出来ていなかった。ケアに活かすことができなかった。 ・より詳細な暮らしの背景や地域との関係まで把握できていない。 ・ご本人の暮らしに必要な地域の資源等について十分に把握する事ができていない。 ・地域資源、民生委員が誰なのかなど把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
サービス評価係を中心に、暮らしの情報シートやエコマップの使い方の学びの場を設け、地域とのつながりを意識した支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 2日 (14:00~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6人	8人		14人

前回の改善計画  
 ・地域の中でどの様な支援が行われているのか、その地域の社会資源を理解し把握することで、ご利用者の状態に合わせたサービスの提供を行えるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 ・ケアプランのサービス内容にある社会資源については、本人の意向に合わせ対応できていた。(とくしまるや体操教室)  
 ・ケアプランに位置付けられている社会資源は理解していたが、その他に、その方の住んでいる地域及び、事業所エリアの地域に、どのような資源があるのかは把握しきれておらず、提案するには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3人	9人	2人		14人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6人	8人			14人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4人	8人	2人		14人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4人	10人			14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・利用者様一人一人のニーズに合わせた支援を意識している。  
 ・タブレットに日々の変化などを記録し、職員全員で共有する事ができている。  
 ・ふれあい収集の活用、一部の利用者ではあるが、隣人の協力(様子の把握やゴミ出し)は得られている。  
 ・その日のご本人の状態に応じた支援を行っていけるように取り組む事ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・地域の資源を有効活用した支援を行うことができていない。  
 ・社会資源を十分に把握できておらず、意識が向かなかった。CMに任せきりになっていた。  
 ・ご利用者の強みや可能性を拡大させるための情報収集が不足していた。  
 ・情報をよく理解していないため、不安を感じる場面がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 ご利用者にかかわりのある地域資源を把握するために ケアマネ、本人、家族からの情報収集(会話等から)し、スタッフ間で共有し(エコマップの活用)本人の思いに沿ったケアにつなげる。  
 どんな地域資源があるか、知る機会を持つために、事業所の地域の「地域資源マップ」を作成し、小規模計画のモニタリング時など、提案できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 2日 (14:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人		2人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・広報誌を用いて小規模多機能及びサポートセンタの機能と魅力を発信し、多くの方に認知して頂く。</li><li>・地域の集まりなどに参加し地域との連携を深める事で、地域の声を引き出して行く。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・広報誌での発信に加え夏休みのキッズルームの活用やまちのねなどの活動を通じ、サポートセンターの役割を地域に発信することはできた。</li><li>・「地域の声をきく」点では、町内会の会議等の内容を、スタッフで共有するまでには至らなかった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3人	7人	3人	1人	14人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2人	5人	5人	2人	14人
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	5人	3人	5人	1人	14人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4人	6人	2人	2人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者様は地域の祭りに参加し、住民と交流ができていた。</li><li>・地域交流スペースの活用により、昨年度と比較して夏休み時の児童への開放など活用されていた事が実感できた。また、ご利用者と子供たちも交流ができた。</li><li>・運営会議や避難訓練などを通じ、地域と連携が計れている。</li><li>・小規模の事柄について発信できている。徐々に地域に浸透してきているように感じる。</li><li>・緊急時医療機関と連携をとり、スムーズに対応できた。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方の声を引き出すところまではいけていない。直接的に接する機会が少なかった。</li><li>・地域の集まり (会合) がどういったものか、内容や意味合いを把握できていない。</li><li>・地域の会議や地域の集まりに管理者が参加しており、内容を理解していなかった。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・フェニックスネットの活用にて、医療系サービスとの連携を深める。</li><li>・地域の会議の内容を共有しながら「地域の声を」をスタッフ間で共有し、地域の相談窓口となる。</li><li>・地域交流スペース (特にカフェコーナー) の活用を通じ、地域の方が「いつでも立ち寄れる場」の提供を行う。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 5日 (14:00~14:30)

7. 運営

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	2人		14人

前回の改善計画
ご利用者、ご家族、地域の方々からの意見や苦情に対し、事業所として具体的にどの様に対応していくか。ミーティング等を利用し苦情、要望を担当者を中心に職員全体で考えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
日々のケアの中で、ご利用者からの要望（意見）は、日々の申し送り及び、月1回のミーティングでスタッフ間で共有し対応できた。 地域からの声については、地区の民生委員会議や運営推進会議での意見をお聞きする場面があるが、管理者が中心となっていたにとどまっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		4人	8人	2人	14人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3人	9人		2人	14人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4人	8人		2人	14人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2人	8人	2人	2人	14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者様や地域の方からの意見や苦情など職員間で共有し、改善に努めた。</li><li>・地域の方々からの意見等に耳を傾け、センターに活かせるものは何か考えていた。</li><li>・運営推進会議や避難訓練など地域と協働して取り組むことが出来た。</li><li>・意見や苦情についてミーティング等で話し合いが行えている。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・定期的な家族や利用者からの意見がどの様に、どういった形で汲み取られているかを十分に把握できていない。</li><li>・あせってしまうと援助内容を優先してしまい、視野が狭まって当たり前のことを見落としてしまいがちになっていた。</li><li>・地域の困りごとを自ら気付く事はなく、ご意見、苦情に対し、自分の意見を積極的に言えていない。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	引き続き、日々のケアの中で要望等をしっかり受け止める。民生委員会議や運営推進会議では管理者だけではなく、参加したスタッフも意見を伝えるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 5日 (14:00~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	2人	人	14人

前回の改善計画

スキルアップと同時にコミュニケーション能力の向上を図る為、事業所内外の研修に参加し、知り得た情報について全体で意見を出し合い話し合う。  
事故防止対策委員会を中心に、発生した事故の対策防止策を検討する。ミーティング等を活用し、再発防止の検討を今後発生しうるリスクの回避にまで広げ検討し、リスクマネジメントの意識の向上に繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

センター内研修、外部研修ともに参加できていた。また、業務の都合で参加できなかったスタッフへも、伝達研修を行うことで、学びの共有はできていた。  
事故（ヒヤリハット）についても、委員会を中心に集計・傾向を把握し、ミーティング時に周知していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5人	6人	3人		14人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4人	5人	3人	2人	14人
③	地域連絡会に参加していますか	5人		8人	1人	14人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3人	8人	3人		14人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・事故、ヒヤリの振り返りをしっかり行い、気を付けている。自分のケアを見直し、利用者様が嫌な気持ちにならない対応を心掛けている。
- ・研修報告に関しては回覧やミーティング内での伝達研修にて共有できている。
- ・センター研修に定期的に参加し、様々な状況に応じたケースに対応できるように努めている。
- ・話し合い共有出来ている。徐々にではあるがスキルアップを実感できている。
- ・資格取得、スキルアップのため様々な研修学会に参加できた。日々のケアに活かすことができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・同じようなヒヤリハットが続いたり、事故対策に関して、情報共有はできているが、再防止策の実践状況部分の取り組みや発信の遅れ、怠りが見られる場面があった。
- ・互いに声を掛け合い、他人まかせにせず、確認するべきことをしっかり行う事が不十分だった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

研修等への参加は積極的に行い、個々のスキル向上に努める。  
事故対策について、集計と傾向を把握しながら、より詳しく分析し、同じ事故（ヒヤリ）を繰り返さないために、リスクマネジメントへの意識を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7年 11月 5日 (14:00~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	8人	人	人	14人

前回の改善計画
・定期的(三ヵ月毎)な虐待チェックを継続し、ケアの振り返りを行い、事業所全体のケアの質の向上を目指す。 ・個人情報の1つ1つに配慮し、特に申し送りの場面では周囲へ気遣い、情報の漏洩にならないように対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果
虐待防止委員会を中心に、3か月に1回のチェックを行い、事業所として、また個別として双方でケアへの意識はできた。 申し送り等では、声の大きさ、場所、人数など周囲への配慮が欠けていた場面もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	14人				14人
②	虐待は行われていない	14人				14人
③	プライバシーが守られている	8人	6人			14人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8人	3人	3人		14人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	13人	1人			14人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用者の個人情報が漏れないように配慮している。 ・言葉使いに気を付け、不快な思いをさせないよう常に穏やかな心でケアするよう努めた。 ・虐待チェックリストに関する項目について、一つ一つ理解を深めることがチェックを通してできている。 ・定期的に虐待チェックを行ない話し合っている。身体拘束や不適切な発言もなかった。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・フロアでの職員同士の会話内容や声の大きさ等、配慮が足りないと感じる事があった。 ・個人情報を扱っていることを常に意識してはいたが、忙しい時こそ周囲への気遣いをしっかり行えるようにするが出来ていなかったように思う。 ・日々行動や意識が当たり前になってしまう場面があった。 ・個人を特定されない工夫ができていない時がある。特に緊急時には配慮に欠けることが多かった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	虐待防止チェックは継続(3ヵ月)し、互いにケアの質について話し合う場を設け、ご利用者の尊厳を意識したケアを行う。 申し送りについて、方法やタイミングについて見直しを行い、ご利用者へ配慮を行う。

